



鶴見
de
古楽

4
木 15

限定50席
コロナ対応
当日券無し

国枝俊太郎
ヨーロッパお国巡り

笛の旅 vol.4

J.Ch.バッハ フルートとオブリガート・チェンバロのためのソナタ ニ長調 op.16-1
J.ファン・エイク 「笛の楽園」から
J.C.シックハルト リコーダー・ソナタ イ短調 op.17-3
J.S.バッハ フルートとオブリガートチェンバロのためのソナタ ト短調BWV1030a

他

午後の部 開場 13:30/ 開演 14:00

夜の部 開場 18:30/ 開演 19:00

鶴見区民文化センター
サルビアホール3f 音楽ホール

【全席自由】 ¥3,900 (税込) ペア ¥7,200 (税込)

事前現金振込のみ受付



日本チェンバロ協会
Japan Harpsichord Society

主催：(一社) VIA GALLERIA

後援：日本チェンバロ協会

メール申込 info@viagalleria.or.jp

チケット購入方法についての詳細裏面 ▶

本日の公演に寄せて - 国枝俊太郎

鶴見de古楽の「笛の旅」公演も4回目となりました、作品ごとに様々な楽器を使用して「それぞれ独特の音色を持つ楽器でたくさんの音楽をお楽しみいただき、ヨーロッパ諸国巡りでもしているような気分を味わっていただきたい」という趣旨で企画しています。というわけで、主役は「特定の作曲家」でもなく「演奏者」でもなく、「楽器たち」です！

バロック時代には国ごと地域ごとに様々なスタイルの楽器が使われていて、それは音楽作品のキャラクターにも反映されていることがわかります。楽器の選択に関しては、それぞれの作品の魅力を発揮させるべく、チェンバロの岡田さんとのリハーサルを通じ、慎重に楽器選びを行いました。

私自身、「楽器から多くの事を学んでいって、それを演奏に反映させたい」というスタンスで活動を続けてきました。ご来場いただきました皆様にとりまして、本日のコンサートを通じて少しでも何かを感じていただけたら幸いに思います。

主催者より

2018年から続く「笛の旅」は、様々な楽器・国が奏でる音楽の魅力を、心震える演奏で届けてくれる旅。選び抜かれたプログラムで回を重ねるごとに充実・進化し、毎回ファンの心に余韻を残す名シリーズです。昨年11月12日、エマヌエル・バハ無伴奏の演奏で静まりかえった会場に沁みるフラウト・トラヴェルソの響き、演奏会の余韻を愛しむシェドヴィルのフラジオレットの音色・・・5本の縦・横笛と選曲のベスト・マリアージュを味わう至福の時間でした。今回Vol.4では、フルートと並び主役を演じるチェンバロとの掛け合いを楽しみ両バハ親子のソナタでそれぞれの時代の響きを楽しみます。そしてファン・エイク（蘭）、シックハルト（独）、バルサンティ（伊）らの染みわたるリコーダーの音色、そしてヘンデルのフルート・ソナタで各国の旅を綴ります。リコーダーやフルートの名手、ハンス=マルティン・リンデやフランス・ブリュッヘンのオマージュともいべきプログラムは、オリジナル楽器を含め、それぞれ故人を偲ぶ楽器でお届けします、どうぞお楽しみに。

前回 Vol.3 演奏会に寄せられた声

「さまざまな笛とセレクトされた曲を聴くことができ、なんてぜいたくな時間だったことでしょうか！生演奏を聴くことの幸せをかみしめた時間でもありました。いろんな笛を操る国枝さんならではの演奏会だと思います。」

「注目していたのはエマヌエル・バハ。聴いているこちらも緊張しました。テンポや間の取り方はとても共感し、吹き終わった表情も鬼気迫っていました！」

「他の会場で聴けなくなるのではと思うくらいで、サルビアホールのは美しいです。演奏も充実感に満たされ、幸せな気持ちになりました。」

「古楽器のフルートの力強く温かい音色の演奏会を有難うございました、素晴らしかったです！チェンバロの音を聴いたとき、生の音を浴びる快感を感じました。様々な笛の音に癒されました。」

「楽しい時間をありがとうございました。国枝さんの解説の軽妙さと演奏の本格的なところのギャップが大好きです。」

国枝俊太郎

リコーダー、フラウト・トラヴェルソ
Shuntaro Kunieda

リコーダーを安井敬、フラウト・トラヴェルソを故中村忠の各氏に師事。1995年開催の第16回全日本リコーダー・コンテスト「一般の部・アンサンブル部門」にて金賞を受賞。これまで東京リコーダー・オーケストラのメンバーとして数々のコンサートに参加し、NHK教育テレビ「ふえはうたう」「トットゥアンサンブル」に出演、CD録音にも加わっている。また「ムジカ・フラウタ」のメンバーとしても、NHK-FM「名曲リサイタル」に出演する。現在はバロック室内楽を中心に、古楽器オーケストラによる数々の演奏会に出演するなど、幅広く活動を行っている。バロックアンサンブル「クラングレーデ」「ムジカ・レセルヴァータ」。メンバー。

岡田龍之介

チェンバロ
Ryunosuke Okada

慶応義塾大学経済学部卒業後、東京芸術大学楽理科卒業、同大学院修了。音楽学を角倉一朗、チェンバロを有田千代子、渡邊順生各氏に師事。1983年ジャン・ジャック・ルソー「村の古い師」オペラ（原語本邦初演）でデビュー後、国内外で多数演奏を行い、フェデリコ・アゴ스티ーニ、シグスヴァルト・クイケン、D.ブリュッヘンら国内外の優れたソリスト、バロック奏者とのアンサンブルで培った通奏低音の表現力は高く評価されている。近年は教育活動や、講演会・執筆などを通じた普及活動も積極的に進め、NHK-FMにも出演。韓国ソウル国際音楽祭、アリオン・レクチャーコンサート、栃木「蔵の街」音楽祭、目白バ・ロック音楽祭、北とびあ国際音楽祭、みなと・横浜バロックシリーズ、金沢史跡コンサートに加え、韓国やドイツにも広く客演している。第13・23回古楽コンクールでチェンバロ部門審査員を務めている。ソロCD「銀色の響き」はレコード芸術誌準特選に選ばれ、これまでに10枚のCDをリリースしている。洗足学園大学・都留音楽祭各講師（～2017）、古楽アンサンブル「ヴィアッジョ・ムジカレ」「ムジカ・レセルヴァータ」主宰、鴻巣FM放送「クラシックの散歩道」メインパーソナリティー。ザロモン室内管弦楽団指揮者。日本チェンバロ協会会長。



お申込み方法

ヴィアガレリア案内ページ

<http://ur0.work/lvAW>



現金振込及びペア券申込

<http://ur0.work/SfhQ>



メール申し込み

info@viagalleria.or.jp

電話申し込み

tel. 045-961-0813 (岡田)

information

[メール] info@viagalleria.or.jp [電話] 045-961-0813 岡田 [ホームページ] <http://viagalleria.or.jp/>